

HER2遺伝子(FISH法)提出方法のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、HER2遺伝子検査の検体提出方法につきまして、ご案内させていただきます。
ご依頼にあたり下記の点にご留意いただきますようお願い申し上げます。

敬白

記

■検査項目 HER2遺伝子(FISH法) 項目コード：8154

■検体提出方法

1 依頼書に病理診断名・組織型をご記入下さい。

2 ① HER2遺伝子(FISH法)を単独依頼する場合

・組織型が不明、腫瘍細胞がごく僅かな場合もありますので、院内病理報告書の写しを添付して下さい。添付が難しい場合は、病理組織検査結果と臨床所見等をご記載下さい。

② 弊社で病理検査(報告書作成まで)を行っている場合

・対象の既往病理番号を依頼書にご記載下さい。

3 腫瘍内不均一性(heterogeneity)がみられることもありますので、可能であれば観察部位の指定または既往の免疫染色標本(HER2タンパク/IHC)を添えていただけるようお願いいたします。

■提出材料および留意事項

・提出材料は乳癌・胃癌・大腸癌(原発巣や転移巣)の未染標本スライドまたはパラフィンブロックとなります。

未染標本：5枚、切片の厚さ：4μm

※未染標本は剥離防止処理コーティングスライドで、有効期限内のものをご使用下さい。

・固定時間は10%中性緩衝ホルマリンによる固定で、6~72時間以内が推奨されます。

・ホルマリン固定以外の固定方法を用いた検体や脱灰処理を行った検体は推奨されていません。

・薄切後は40℃で一晩、もしくは60℃で30分以内で乾燥後、速やかにご提出下さい。

長時間、高温に置くことは、染色不良の原因となりますので避けて下さい。

※その他検体採取から固定までの取扱いは、弊社総合検査案内「24~25」(156頁)「コンパニオン検査やゲノム検査を行う病理組織検体提出に関して」をご参照下さい。

以上

*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション

2024-A-048